様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　南学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	助産学科	夜・通信	１０５時間	８０時間	
	看護学科	夜・通信	２４０時間	２４０時間	
	歯科衛生学科	夜・通信	２４５時間	２４０時間	
	理学療法学科	夜・通信	２７０時間	２４０時間	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	１８０時間	１６０時間	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校のホームページに公表する。http://www.minami.ac.jp/disclosure

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　南学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校のホームページに公表する。http://www.minami.ac.jp/disclosure

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医師	令和３年７月 25 日 ～令和５年７月 24 日	経営・調整
非常勤	医師	令和３年７月 25 日 ～令和５年７月 24 日	企画・調整
非常勤	歯科医師	令和３年７月 25 日 ～令和５年７月 24 日	企画・調整
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

○　授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，設置している５学科（助産学科，看護学科，歯科衛生学科，理学療法学科，介護福祉学科）の授業計画書（シラバス）を当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。

　また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。

授業計画書の公表方法	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

○　「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則および学則施行細則に規定するとともに，授業計画書（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。

　また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の議を経て単位を認定している。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

○　成績評価については，客観的な指標としてＧＰＡを用いた評価を行なっている。

（ＧＰＡによる評価について：以下「ＧＰＡに関する取扱い要項」より）

第２条　この要項において「GPA」とは，各授業科目の成績評価（評点）に対応して４～０の評価（グレード・ポイント）（以下「GP」という。）を付与して算出する１単位当たりの成績評価平均値をいう。

第４条　評価された成績の段階ごとに，次に掲げる GP を配点する。

評価	評点	グレード	ポイント
秀	９０～１００点	S	4
優	８０～８９点	A	3
良	７０～７９点	B	2
可	６０～６９点	C	1
不可	５９点以下	D	0

第５条　GPA は，各学期の GPA（以下「学期 GPA」）と，入学時から当該学期までの GPA（以下「通算 GPA」）の２種類とする。その計算は次に掲げるとおりとし，計算値は小数点第 3 位を四捨五入し小数点第 2 位までの数値を表記する。

(1) 学期 GPA

$$\frac{\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の当該学期のＧＰ})\}\text{の合計}}{(\text{当該学期に履修した単位の総数})}$$

(2) 通算 GPA

$$\frac{\langle\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の各学期のＧＰ})\}\text{の合計}\rangle\text{の総和}}{(\text{履修した全ての単位の総数})}$$

○　「ＧＰＡに関する取扱い要項」により適切なＧＰＡの運用を図るとともに，各学科・各学年のＧＰＡ分布図を作成し成績の分布状況の把握に努めている。

また，「ＧＰＡに関する取扱い要項」の学生への周知を図り，学校のホームページに公表している。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ○　卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身に付けている能力）を策定し，各学科に共通して適用している。 　また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。 鹿児島医療福祉専門学校 ディプロマポリシー(称号授与の方針，卒業時に必ず身に付けている能力) ・本校教育課程編成の基本的な考え方に沿って設定した授業科目を履修し，医療・福祉の専門職業人として必要な倫理観と知識・技術・技能を有するとともに，自ら学び続ける能力と，社会・地域に貢献できる次の能力を備えた者に専門士を授与する。 1　医療・福祉の専門職業人として必要な知識・技術・技能・態度を身に付けている。 2　豊かな人間性を身に付け，なにごとにも主体的に取り組むことができる能力を有している。 3　組織やグループの中でリーダーシップやフォロワーシップを発揮できる。 4　チーム医療に必要なコミュニケーション能力を有し，他の職種と協働して遂行できる能力を有している。 5　医療・福祉のニーズに柔軟に対応し，社会・地域に貢献できる能力を有している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人　南学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
収支計算書又は損益計算書	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
財産目録	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
事業報告書	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
監事による監査報告（書）	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

【助産学科】（学科の情報）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	助産		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
１年	昼	１０２０ 単位時間	５２５ 単位時間	０ 単位時間	４９５ 単位時間	０ 単位時間	０ 単位時間
			１０２０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２５人	１７人	０人	３人	２１人	２４人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，助産学科の授業計画書（シラバス）を，当該年度の前年度末に作成している。 内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則及び学則施行細則に規定するとともに，授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） ＧＰＡが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科の指導教員等が面談し必要な学修支援を行なう。また，専任教員全員で学生個別面談を行い，学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて，保護者との連携を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２１人 （100%）	０人 （　０%）	２１人 （100%）	０人 （　０%）
（主な就職、業界等） 県内外の病院･医療機関等			
（就職指導内容） 入学時に学科で求人状況や病院・施設等の概要等について説明を行なう。履歴書の記載方法等や面接指導等については，必要に応じて行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国家資格試験合格率(令和２年度)　助産師：100% ・国家資格試験合格率(令和３年度)　助産師：100% ・国家資格試験合格率(令和４年度)　助産師：90.5%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
２１人	０人	０%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・医療，介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。(臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。) ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月１回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施する。 ・人物･学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

【看護学科】（学科の情報）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	看護	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	３１１０ 単位時間	２１３５ 単位時間	０ 単位時間	９７５ 単位時間	０ 単位時間	０ 単位時間
			３１１０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２４０人	１８４人	０人	１４人	７５人	８９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，看護学科の授業計画書（シラバス）を，当該年度の前年度末に作成している。

内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。

成績評価の基準・方法

（概要）

「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則及び学則施行細則に規定するとともに，授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。

学修支援等

（概要）

ＧＰＡが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科の教務主任が面談し必要な学修支援を行なう。また，随時，学生個別面談を行うことで学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて，保護者との連携を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
４７人 （100%）	２人 （4.3%）	４１人 （87.2%）	４人 （8.5%）

（主な就職、業界等） 　県内外の病院･医院，医療機関，福祉・保健施設等
（就職指導内容） 　１年次から就職ガイダンスを実施し，２･３年生を対象とした病院説明会の開催と３年次４月に就職講話を実施している。また，履歴書の書き方指導や面接指導も行っている。
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国家資格試験合格率(令和２年度)　看護師：86.8% ・国家資格試験合格率(令和３年度)　看護師：98.3% ・国家資格試験合格率(令和４年度)　看護師：91.5%
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１８８人	２０人	10.6%
（中途退学の主な理由） 　進路変更，健康上の問題，学業不振，経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・医療，介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。(臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。) ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月１回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに，特に基礎学力に不安を抱える学生には，前期に「特別授業」，後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物･学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

【歯科衛生学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士
医療		医療専門	歯科衛生		○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	３０６７ 単位時間	１７５７ 単位時間	０ 単位時間	１３１０ 単位時間	０ 単位時間	０ 単位時間
			３０６７単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
１２０人	８２人	０人	４人	６１人	６５人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，歯科衛生学科の授業計画書（シラバス）を，当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則及び学則施行細則に規定するとともに，授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） ＧＰＡが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科長が面談を行い必要な学修支援を行なう。また，随時，学生個別面談を行うことで学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて，保護者との連携を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
２９人 （100%）	０人 （　０%）	２６人 （89.7%）	３人 （10.3%）

（主な就職、業界等）
県内を中心とする歯科医院等

（就職指導内容）
２年次の４月に就職講話を実施している。３年次７月の就職オリエンテーションにおいて履歴書の書き方指導等を行い，就職試験前には面接指導を行っている。

（主な学修成果（資格・検定等））
・国家資格試験合格率(令和２年度)　歯科衛生士：86.2%
・国家資格試験合格率(令和３年度)　歯科衛生士：95.8%
・国家資格試験合格率(令和４年度)　歯科衛生士：86.2%

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
８８人	８人	9.1%

（中途退学の主な理由）
進路変更，健康上の問題，学業不振，経済的理由

（中退防止・中退者支援のための取組）
・医療職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。（臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。）
・臨床心理士による「カウンセリング室」を月１回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。
・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに，特に基礎学力に不安を抱える学生には，前期に「特別授業」，後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。
・人物･学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。

【理学療法学科】（学科の情報）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
医療	医療専門	理学療法	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
３年	昼	３１２０単位時間	１７２７単位時間	５２３単位時間	８７０単位時間	０単位時間	０単位時間
			３１２０単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
２４０人	１６９人	０人	９人	５１人	６０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，理学療法学科の授業計画書（シラバス）を，当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。

成績評価の基準・方法

（概要）
「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則及び学則施行細則に規定するとともに，授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
（概要） ＧＰＡが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科長が面談を行い必要な学修支援を行なう。随時，学生個別面談を行い学習支援や生活状況の支援に努めている。また，必要に応じて，保護者との連携を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
５１人 （100%）	０人 （　０%）	４６人 （90.2%）	５人 （9.8%）

（主な就職、業界等）
県外の病院･医院，医療機関，福祉･保健施設等

（就職指導内容）
３年次の４月に就職講話を実施し，７月と 10 月に就職説明会を開催する。また，面接指導，履歴書の作成指導を行う。

（主な学修成果（資格・検定等））
・国家資格試験合格率(令和２年度)　理学療法士：72.3%
・国家資格試験合格率(令和３年度)　理学療法士：74.4%
・国家資格試験合格率(令和４年度)　理学療法士：86.0%

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１５３人	９人	5.9%

（中途退学の主な理由）
進路変更，健康上の問題

（中退防止・中退者支援のための取組）
・医療職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。（臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学実習の実施）
・臨床心理士による「カウンセリング室」を月 1 回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。
・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに，特に基礎学力に不安を抱える学生には，前期に「特別授業」，後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。
・人物･学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。

【介護福祉学科】（学科の情報）

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
教育・ 社会福祉	社会福祉専門	介護福祉	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	２１６６ 単位時間	８４４ 単位時間	８６６ 単位時間	４５６ 単位時間	０ 単位時間	０ 単位時間
			２１６６単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
８０人	２９人	６人	５人	３５人	４０人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

授業計画書（シラバス）の作成については，本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って，介護福祉学科の授業計画書（シラバス）を，当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容，到達目標，成績評価の方法や基準等を明示している。また，作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに，毎年度４月当初に学校のホームページに公表している。

成績評価の基準・方法

（概要）

「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について，学則及び学則施行細則に規定するとともに，授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。

また，定められた授業科目を適切に履修し，単位を修得したことについて，学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。

また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。

学修支援等

（概要）

ＧＰＡが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科長が面談を行い，必要な学修支援等を行なう。「特別授業」及び「チャレンジセミナー」を実施し，基礎学力の向上を図っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
１６人 （100%）	０人 （　　%）	１６人 （100%）	人 （　　%）

（主な就職、業界等） 　県内の介護老人福祉施設，介護老人保健施設，障害者支援施設
（就職指導内容） 　２年次４月に医療福祉関係の人事担当者等による就職講話を実施している。また，２年生科目の「面接指導」において，就職試験の心構えや対策等を指導している。
（主な学修成果（資格・検定等）） ・国家資格試験合格率（令和２年度）　介護福祉士：100％ ・国家資格試験合格率（令和３年度）　介護福祉士：100％ ・国家資格試験合格率（令和４年度）　介護福祉士：100％
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
３１人	２人	6.5％
（中途退学の主な理由） 　健康上の問題，学業不振		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・医療，介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。（臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。） ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月１回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに，特に基礎学力に不安を抱える学生には，前期に「特別授業」，後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物･学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
助　　産	300,000 円	900,000 円	200,000 円	その他欄は施設設備整備費と実習費の合計
看　　護	180,000 円	540,000 円	380,000 円	その他欄は施設設備整備費と実習費の合計
歯科衛生	100,000 円	400,000 円	200,000 円	その他欄は施設設備整備費と実習費の合計
理学療法	300,000 円	800,000 円	460,000 円	その他欄は施設設備整備費と実習費の合計
介護福祉	120,000 円	390,000 円	240,000 円	その他欄は施設設備整備費と実習費の合計
修学支援（任意記載事項）				
○森永茂樹奨学金（対象：看護学科･歯科衛生学科･理学療法学科･介護福祉学科） ・人物，学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者。日本学生支援機構第一種奨学金等を受けていない者。 ・貸与月額 3 万円，5 万円，7 万円，10 万円から選択				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.minami.ac.jp/disclosure

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
本校の学校関係者評価委員会は，12 名の学校関係委員（企業等委員＝医療福祉施設関係委員・保護者委員・卒業生委員各４名）により構成され，学校による「自己点検・自己評価」の内容について，その適否を評価するとともに学校運営（経営，教育の現状及び短・中期的課題や教育方針，社会的責務等）について，学校ＰＤＣＡサイクルが適切に機能するよう提言等を行う。学校は学校関係者評価委員会による評価結果を受け，組織的，継続的な改善に取り組むこととし，次年度改善策等の実施に向け教務主任・学科長会議及び職員会議等で協議検討を行い，実施体制を整えることとしている。 なお，自己評価結果は毎年６月頃に，学校関係者評価委員会による最終評価結果は毎年９月頃にホームページに公表している。 ・主な評価項目 (1) 教育理念・目標　(6) 教育環境 (2) 学校運営　(7) 学生の受け入れ募集 (3) 教育活動　(8) 財務 (4) 学修成果　(9) 法令等の遵守 (5)学生支援　(10)社会貢献・地域貢献

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
公益財団法人 慈愛会 看護部支援室	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	企業等委員
医療法人 YUMI DENTAL OFFICE	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	企業等委員
医療法人 聖仁会 南薩ケアほすぴたる	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	企業等委員
医療法人 慈恵会　介護老人保健施設 城西ナーシングホーム	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	企業等委員
看護学科保護者	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	保護者委員
歯科衛生学科保護者	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	保護者委員
理学療法学科保護者	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	保護者委員
介護福祉学科保護者	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	保護者委員
看護学科卒業生	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	卒業生委員
歯科衛生学科卒業生	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	卒業生委員
理学療法学科卒業生	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	卒業生委員
介護福祉学科卒業生	令和４年４月１日～ 令和６年３月 31 日	卒業生委員

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.minami.ac.jp/disclosure
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.minami.ac.jp/disclosure